

意見交換会実施報告書
都城市議会議長 様

令和 6 年 7 月 23 日
広報広聴委員長 森りえ

意見交換の場に関する実施要項2(8)①の規定により、次のとおり報告します。

開催日時	令和 6 年 7 月 10 日 (水) 15 時 30 分 ~ 17 時 分
開催場所	五十市地区公民館
出席議員	森りえ 小玉忠宏 畑中ゆう子 川内賢幸 広瀬功三 羽田野徳寿 坂元唱子 綿屋善明 佐藤紀子 中田悟 筒井紀夫
参加人数	28 名
団体名	宮崎県立都城工業高校
テーマ	10年20年後の都城市を担っていく高校生たちに、どんな都城市になってほしいか、・都城でどんな風に暮らしたいかなど率直な意見を聞かせてもらい、未来の都城市について意見交換をする。
意見交換の概要 (主な意見・質問・要望 等及び 答弁)	○高校生4～5人、議員1～2人のグループを6グループづくり、いくつかのテーマについて意見を出してもらう。 ○主権者教育の立場で選管委員長の参加があり、選挙について簡単な講話があった後、高校生との意見交換会にも参加してもらった。 高校生→議員 ○ 政治のイメージ ○ 議員活動関連 ○ 政策について 議員→高校生 ○ 就職(条件など)について ・月収 ・都城で就職したいか ○ 将来像(夢) ○ 環境問題 ○ ほしい施設 ○ 公民館活動 ○ 地域貢献
その他 (今後の課題・感想等)	○ 出された意見を分析し、政策提言分科会に提案する。 「就職」(どのような働く場所、企業があるのか)のイメージを小学生のころから体験させることが必要ではないか。(こども版企業巡検) ○ 高校生との意見交換会を市内の高校ともやっていく。 ○ 複数の高校から代表を出してもらい、イオンモールで意見交換会をやってみる(選管と共同で) ○ 今後の意見交換会のモデルケースの一つとして考える。